

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)		ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・割引料金は撤廃したが、それでも大きな値崩れはしておらず、利用人数もそれほど大幅には減少していない。
		一般小売店 〔鞆・袋物〕 （経営者）	来客数の動き	・インバウンド客の購買力が回復している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年を上回っている。
		観光型ホテル （マーケティング担当）	販売量の動き	・3か月前に比べ、客室稼働率の前年同月実績との対比がプラスに転じてきている。ただし、前年実績を上回る稼働率ではあるものの、台風接近に伴うキャンセルの影響も受けており、高稼働とはならなかった。
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・前年に比べて販売数量が1.2～1.5倍ほどになっている。ただし、単価の下落分もあるので実際の売上高は微増である。
		通信会社（店長）	販売量の動き	・話題性のある新商品の発売があり、販売数が例月の130%増と大きく伸ばしている。
		住宅販売会社 （営業担当）	来客数の動き	・住宅展示場への来場者数が3か月前より29%増、前年同月比では11%増である。
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・前年同様に台風の影響で1日臨時休業となったが、前年売上はクリアできた。しかし、内容的には地元客で伸びたのではなく、インバウンド客による底上げがプラスとなった。化粧品やキャラクターグッズ等が人気となっている。
		スーパー（販売企画）	来客数の動き	・競合店の新規出店による客数減が続いている。
		衣料品専門店 （経営者）	お客様の様子	・夏のシーズンに比べれば落ちてきたものの、10月はイベント続きで景気は良くなる予測していた。しかし、台風続きでなかなか伸びない。
		観光型ホテル （代表取締役）	来客数の動き	・沖縄への観光入域客数は過去最高の状態である。そのため、沖縄はホテルの建設ラッシュである。一方で、民泊、不法民泊も増えている。競争相手がどんどん増えていることから、客の取り合いになっている。当社の売上高、利用者数は前年と比べて下がっている。飲食部門もランチの売上は減っている。競争相手が増え、また、サラリーマンの財布のひもも固くなっている。
		通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・携帯業界が狭い市場で潰し合っているように感じられる。解約して他社で新規契約するというケース等が多くみられる。
		その他のサービス 〔レンタカー〕（営業担当）	来客数の動き	・10月の予約状況について、当初は前年より良い状況であったが、2週連続で週末に台風が接近し大幅なキャンセルが出たため、前年を割る件数となった。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・10月は例年落ち込む月ではあるが、今年は例年以上に平日の地元客の動きが鈍い。周りのホテルの建築ラッシュで活気はあるが、飲食は地元客が低価格店に流れている。インバウンド客は、SNSの影響で行列店との差が大きい。
		x	商店街（代表者）	競争相手の様子
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		食料品製造業 （総務）	受注量や販売量の動き	・観光土産用や業務用の販売量が順調に推移しており、全体的にやや良くなっている。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・3か月前に比べて、新築の契約金額が増えた。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共向け出荷は減少、民間は横ばい、全体でほぼ横ばいとなった。
		x	-	-

雇用 関連 (沖縄)	-	-	-
	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・ほとんどの業種で人材不足による求人募集があり、派遣依頼も増え続けている。既存ユーザーも今までの職種以外に、従来依頼のなかった幅広い職種での依頼があり、新規も増えている。また地域をまたいで、遠方からの依頼や直接来社しての依頼もある。
	学校 [専門学校] (就職担当)	周辺企業の様子	・仕事の依頼が増えているという情報が多い。
	人材派遣会社 (総務担当)	求職者数の動き	・衆議院選挙関連の単発の仕事の求職者は何とか確保できたが、長期案件の求職者は少なかった。
	求人情報誌製作 会社 (編集室)	求人数の動き	・3か月前と比較すると週平均で19件ほど減少はしているが、大きな増減はみられなかった。
	-	-	-
x	-	-	-